

いざという時、安心の 衛生・医療用品編 Vol.02

包帯やガーゼなどの医療用品は、
用意するだけではダメ。
日ごろから練習して正しい使い方を覚えよう。

例えば、包帯をいきなり渡されて、正しく巻ける人はどれくらいいるでしょうか。ガーゼはどの程度あてるのか、包帯を巻いた端はどのように処理するのか、そういった作業が正しくできないと、どれだけ包帯を用意しても意味がありません。それ以前に、一人の怪我にどの程度包帯を消費するのかを理解していないと、「包帯は基本、1人1巻、人数分用意する事」と言われても、そんなに使わないのではないかと思いがちではないでしょうか。

ここでは、災害時に予想される感染症の予防、消毒に使えるグッズと衛生用品、重症ではない怪我などに対応する医療品のお勧めを紹介しています。個人で対応ができる範囲に絞ることで、コンパクトに収納できるものを選び、また様々な状況に幅広く対応できるようにしました。個人で対応可能な外傷用としてガーゼや伸縮包帯、絆創膏を、また感染症予防として手指消毒薬、マスクなどは必ず揃えておきましょう。そして、冒頭に書いたように、応急処置(手当や蘇生法など)や、感染症予防の講習を受けるなど、知識やスキルを身につけておくことが重要なのです。

＜製品リスト＞

- 伸縮包帯:ニチバン「つきつき包帯」(参考価格 ¥380)
- ガーゼ:カワモト「医療ガーゼ」(参考価格 ¥400)
※コクヨ「救急用品セット」に同梱
- 手袋:ハウディ「BLニトリル手袋」(参考価格 ¥638)



伸縮包帯は伸び縮みするので、初心者でも比較的巻きやすい包帯です。巻いた後の残りは切り取らず、包帯の中に差し込んで留めます。



ニチバンの伸縮性包帯「つきつき包帯」。これを最低でも人数分用意しておきましょう。



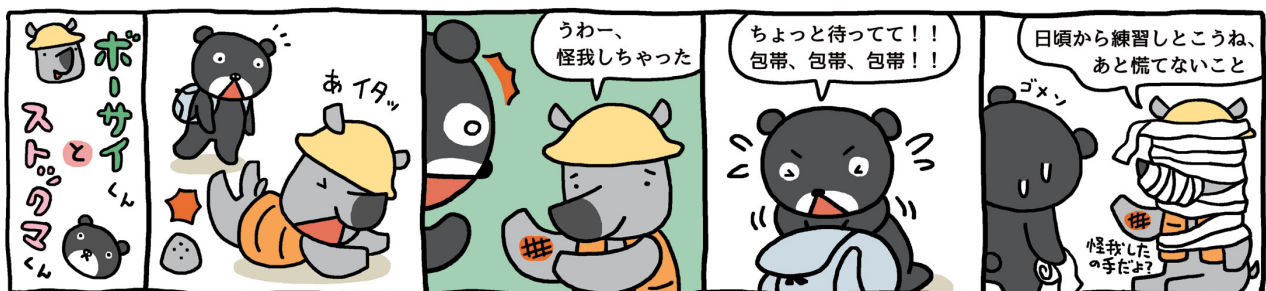
包帯を巻く前に、まず傷口にガーゼを当てます。治療の際は必ず手袋をして感染などを防ぎます。



端を差し込んで留めたところ。このように、包帯は最低でも一人1巻を使用します。



包帯を巻いても血が滲むようなら、さらに当て布をした上で包帯を巻きます。



必ず用意したい 衛生・医療用品

消毒に使えるグッズと衛生用品、重症ではない怪我などに対応する医療用品の中の必携品を集めました。どの程度の量が必要か、類似品の使い分けなども解説しています。



災害時は不衛生になりがちなので、積極的に消毒や保護具を活用しよう。

身体の清拭



G2TAM
コインおしぼり

身の回りの清拭



G2TAMαプラス
ウエットシート

抗ウイルス
抗菌・消臭



アミノエリアーR
スプレー

水なし全身清浄
ドライシャンプー



G2TAM手指用
清浄液スプレー

「N95マスク
弁なしタイプ (20枚入)」
参考価格 ¥4,200

通常のマスク以外に、0.3um以上の微粒子を95%以上キャッチするN95マスクも用意しておきます。インフルエンザなどの空気感染する感染症予防や、火山灰や細かい粉塵の中で避難するなど、ここぞと言う時に役に立ちます。



「キズテープ (2サイズ50枚入り)」

参考価格 ¥300

※コクヨ「救急用品セット」に同梱

キズテープは、できるだけ多く用意しておきます。また、サイズも複数用意します。この製品は2種類のサイズがセットになっていますが、大きなものなど他のサイズも用意します。

「サージカルマスク
(3枚入) DR-PMS3K」

参考価格 ¥200

※コクヨ「救急用品セット」に同梱

花粉症や風邪の予防、風邪の際の周囲への気遣いなどのほか、災害時には粉塵やホコリなどを防ぐためにマスクの出番も増えます。少し多めくらいの数を用意しておくで安心ですね。



目隠しポンチョ



モバイルポンチョ大判

万能包帯



クイックテープ

下着を替える



使い捨て下着

不織布巾着
ポーチ



歯をみがく



「災害対策レディース 9点セット」

参考価格 ¥3,600

大規模災害発生後、生活用水が途絶した環境でも体を清潔に保つための必須アイテムを、女性向けにオシャレなポーチにセットしました。お風呂に入れない環境でも、体を清潔に保つことができます。

「ステアジェル 60ml」

参考価格 ¥360

※コクヨ「救急用品セット」に同梱

手指消毒剤は、感染症予防のため傷の手当てだけでなく、避難生活のあらゆる局面で必要になります。一人最低一本は用意します。べつつきが少なく、保湿効果が高いものを選びましょう。



「三角巾 (Lサイズ)」

参考価格 ¥350

※コクヨ「救急用品セット」に同梱



三角巾は骨折時の吊り布としてだけでなく、包帯代わり、ガーゼ代わり、通常の包帯では対応しにくい部位の保護など様々な用途に使用できます。一人1枚は用意しましょう。

mini column

個人とオフィスでの医療関係の対策

オフィス用では、体温計やピンセット、容量が多い消毒薬などの瓶、徳用の絆創膏や大きめのサイズの絆創膏など複数名で大量に消費するもの、使用頻度の低いもの、使い回しが容易なものなどを中心に揃えると良いでしょう。

個人用としては、非常時に使用する前提でガーゼや包帯、絆創膏などの個人で対応できる範囲の外傷薬と、胃腸薬や風邪薬などの飲み慣れた内服薬、コンタクトを使用している人は予備のメガネや洗浄液など必要なものを用意すると良いでしょう。

●非常食品についてのお問合せ・ご注文は

編集長 戸津弘貴

1974年、長野県生まれ。各種雑誌、WebなどのIT系メディアにて活躍中。ガジェット情報サイト「iPod Style」や、防災情報サイト「防災スタイル」を運営している。

【防災スタイル】

http://www.ipodstyle.jp/feature_cat/bousai/

